医療法人徳洲会 介護老人保健施設まつど徳洲苑広報誌

ほほえみ通信

ほほえみ通信　第58号
制作・編集・印刷・発送
まつど徳洲苑広報委員会
◎清水麻生　○海老原郁美
東川とも子　都丸マリナ　大作美奈子
鈴木未希　杉山孝志　牛島拓也
海老原優子
〒270-0001　千葉県松戸市幸田180-1
Tel 047-309-7172 Fax 047-309-5125
https://matsudo.tokushukai.or.jp/
医療法人徳洲会
介護老人保健施設まつど徳洲苑

新年度のご挨拶

看護介護責任者　木村恵子

みなさま、新年度を迎え心新たにご挨拶を申し上げます。日頃より当施設の運営にご理解とご協力を賜わり、心より感謝申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、ご利用者様の安全と健康を第一に考えながら、スタッフ一丸となりケアに取り組んでまいりました。みなさまのご協力のおかげで、施設運営を継続できましたこと、改めて御礼申し上げます。

今年度もより質の高いケアを提供できるよう、看護・介護、リハビリ、栄養、事務関連専門職との連携を強化し、チームとしての機能を向上させることを目指してまいります。

特に、ご利用者様の「その人らしさ」を尊重したケアを心がけ、医療的な支援だけでなく、精神的な安定や生活の質の向上を図るとともに、働きやすい環境づくりにも努めてまいります。

介護・看護の現場は、常に変化し続ける分野です。新しい知識や技術を取り入れながら柔軟に対応出来る組織を築いて行くことが求められています。そのためにも、職員一人一人が成長し、互いに支えあいながら業務に取り組める環境を整えてまいります。

ご利用者様やご家族のみなさまにとって、安心して過ごせる施設であり続けるために、職員一同、誠心誠意努めてまいります。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

初詣

介護福祉士　海老原優子

一月一日はご利用者様と初詣をしました。各階に段ボール工作で作った神社をしつらえ鈴を鳴らして一人一人お参りしました。

職員からは今年一年のみなさまのご多幸をお祈りさせていただきました。ご家族のみなさまにおかれましても良いお年となりますようお祈り申し上げます。

元旦の昼食では折詰弁当のおせち料理をお出ししました。みなさま大変喜んでくださり笑顔で召し上がっていました。職員としましてもうれしいお祝いの膳となりました。

今年もご利用者様にたくさん召し上がっていただけたらと存じます。

ご利用者様と楽しく過ごし笑顔の絶えない一年にしていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

節分

介護福祉士　海老原郁美

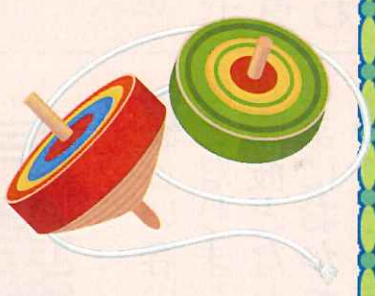
今年も節分の季節がやってきました。

「季」節を「分」と書いて節分。もともとは中国から伝わったものとされています。

昔の中国では、季節の変わり目になると悪いこと（病気、災害など）が起こりやすいと考えられていました。また、そういった悪いことは、鬼のしわざであると考えられていた為、一年無事に過ごせるよう豆をまいて鬼を退治するという風習になったそうです。

当苑でも、フロアに集まったご利用者様が豆に見立てたボールを持ち、「鬼は外！福は内！」の掛け声も忘れず、一心不乱に豆を投げる表情はこの行事でしか味わえない光景でした。

今年一年、大きな病気やケガなく無事に過ごせますよう職員一同願っております。



ひな祭り

介護福祉士　清水麻生

三月三日に各フロアにてひな祭りが行われました。三階フロアではひな祭りに向け、ご利用者様と壁面飾りを作成しました。ひな祭り当日は写真撮影をし、おやつの時間には甘酒を提供させていただき楽しいひな祭りになりました。

栄養課より

管理栄養士　大作　美奈子

今回は三月三日に提供したひな祭りメニューについてご紹介します。主食はちらし寿司、主菜には海老とさつま芋が入ったかき揚げを提供しました。さらに春の季節感を感じられるように旬の菜の花を使用した辛い食事となりました。ご利用者様も大変喜ばれ、特にいちごは普段出ないためか残す方が少なかったです。おやつには菱餅をイメージした三色ようかんも提供しました。これからもみなさまに喜んでいただけるように、季節の食材を使用し、工夫していきたいと思います。

デイだより

介護福祉士　牛島　拓也

デイケアでは、少し遅れて三月十七日にひな祭り行事を行いました。職員の顔の雛人形を用意し、それをうちわ等で扇いで倒し、倒した数を競うゲームを行いました。プチ百円均一のような景品所を用意し、上位者より順番に景品を選んでいただきました。みなさま全力で扇いでおられ、楽しまれておられました！

新人紹介

四階　介護福祉士　広瀬貴士

ご利用者様が、安心安全に生活出来るように努めてまいりたいと思います。

ご迷惑をお掛けする事もあると思いますが、一日も早く業務に慣れるように頑張ります。よろしくお願いします。

編集後記

事務室　都丸　マリナ

優しい春の日差しに、心落ち着く季節となりました。今年の春は最強・最長寒波となりましたが、ご家族のみなさまにおかれましては健やかにお過ごしのことと存じます。

さて、今年は三月から冬の寒さが落ち着き、春の温かさの到来と共に梅の花が開花しました。枝先で揺れる薄桃色の花を眺めている途中で、風に乗った甘い梅の香りが鼻をくすぐっていくのはとても風流な気がします。そんな中、ふっと頭を過るのは一つの句。

「梅の花　一輪咲いても　梅は梅」

幕末に生きたかの有名な新撰組副長、土方歳三が詠んだ句です。この句は同じ言葉を繰り返しているため、俳句の世界では出来が良くないと言われていますが、あえてそう詠んだなど様々な意見が出てるそうです。私は梅の咲くままを詠んだのではないかと考えているのですが、みなさまはどのように感じられますか。四月は桜が咲き、五月には若葉が顔を覗かせます。ふと足を止めて、草木を眺めるのも乙なものかもしれません。

春は昼夜の気温差が激しい傾向にあります。お体にお気を付けてお過ごしください。

今後の行事予定

4月9日（水）
桜まつり

5月1日（木）
端午の節句

6月16日（月）
初夏の大運動会

※行事はご利用者様と職員のみで実施